

WHO'S WHO 活動報告 2025年3月～8月

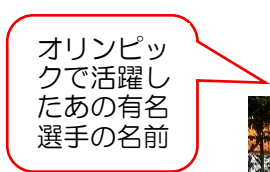
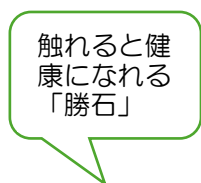
3月 べらぼう江戸たいとう大河ドラマ館 仲見世 浅草文化観光センター

今、NHK テレビ「べらぼう」で大人気の「べらぼう江戸たいとう大河ドラマ館」は、台東区民会館9階にあります。展示は登場人物のパネルや撮影に使われた衣装、蔦屋の店先や歌麿、写楽の浮世絵の映像などが目に留まりました。また、遊女の生活を垣間見る人形と櫓細工や小物細工はとても精巧でした。次に、台東区区民館を出て浅草寺を通り仲見世を歩きました。仲見世は相変わらずの人混みで、和服姿の外国の方も多く見かけます。梅園浅草本店の喫茶室は満員で、外の縁台でスイーツをいただきました。SNSで人気の「どらソフト」を注文、結構ボリュームがあり小腹はすっかり満たされました。さらに、雷門を出て多くの木材が使われ縦のラインが印象的なデザインの浅草文化観光センターに行きました。8階の展望室からは、一直線に並んでいる仲見世商店街と雷門、東京スカイツリーが見え絶好の見晴らしです。台東区は蔦屋重三郎ゆかりの地、吉原神社や有名絵師のお墓が点在し、「次はゆっくり散策したいね」等と話し合いながら帰路につきました。



4月 亀戸天神(藤祭り) 香取神社 亀戸梅屋敷

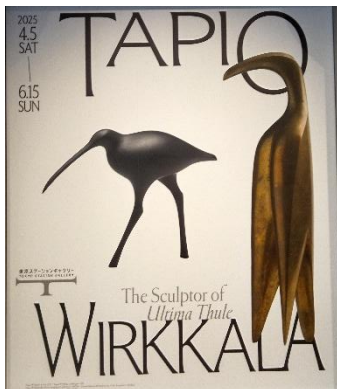
満開の藤は想像したほどの長さではありませんでしたが、藤棚の先にスカイツリーがみえて「さすがに下町！」と思いました。ここも先月の浅草と同様に、外国の方の姿が多くみられました。葛餅で有名な船橋屋は込み合っ
て1時間待ちとのこと、ここでの休憩はやめにして香取神社に行きました。ここの神社は665年に藤原鎌足が太刀ひと振りを納めたのが始まりで、江戸の古跡十二社の一つです。また、「必勝祈願スポーツの神」としても有名で、参道の両脇には有名アスリートの名前が書かれた灯籠がたくさん並び、書かれている名前を一つ一つ確認しながら歩きました。香取神社から最寄り駅を探して歩いていると櫓が目に残りました。傍に歌川広重の絵と同じ名前の「亀戸梅屋敷」という観光案内所があり、中でソフトクリームをいただきながら休憩しました。



5月 東京ステーションギャラリー(タピオ・ヴィルカラ 世界の果て) 明治生命館

タピオ・ヴィルカラはフィンランドの作家です。作品はガラスのほか、磁気、銀食器、木製品など多岐にわたり作品の多さに圧倒されました。タピオ・ヴィルカラは、フィンランドのラップランド地方の自然・静寂に身を置き作品に向きあったとガイドに書かれており、合板のオブジェとガラスの作品はとても印象的でした。ギャラリーを出た後、皇居広場を散策中に明治生命館の建物が目に留まりました。戦後の一時期GHQに接收され、アメリカ空軍指令室となった重要文化財の建物です。1階は静嘉堂文庫美術館が移転しています。丁度、2階の吹き抜けを囲んだ会議室や執務室、食堂などの部屋が無料公開中で重厚な雰囲気を感じ、思いがけずお得な気分でした。

氷のような約
300個のガラス



米・英・中・
ソの4か国で
会議が行われ
た会議室



6月 中止

天候不良とメンバーさんの都合がつかず、今月の集まりは中止となりました。ただし、LINEでは今年の夏は暑さ対策に工夫をして集まろうと話されました。

7月 昼食会(ウナギ)

昨年「おいしいウナギを食べに行こう」と話し合っていました。酷暑のため熱中症予防を考えて、最寄り駅に近いうなぎ屋さんでの昼食会になりました。今月から新しいメンバーさんが一人増えました。日頃からアクティブに活躍されている方で、すぐに打ち解けて楽しいおしゃべりが始まりました。勿論場所を変えてコーヒーとケーキの二次会付きです。ウナギは、とてもおいしかったです。(国産?中国産?それは秘密です)



8月 昼食会(石神井公園駅周辺)



今月も熱中症予防のため、駅の近くでの昼食会となりました。5人全員で、予約開始時間から2時間の制限時間、目いっぱいの会話をしました。今回はただのおしゃべりではなく、ミニ勉強会もしました。テーマは、音楽療法とソーシャル・キャピタルの二つです。ソーシャル・キャピタルは、シニアのグループ活動応援ガイドラインによると、ネットワーク・信頼関係・互恵性(持ちつ持たれつ)のことです。音楽療法は、リクエストの曲を中心にその背景や思い出を話し合った後、全員で歌うのでとても楽しいそうです。後は、場所を変えてお決まりのケーキとコーヒーでの二次会が始まり、とにかく良くしゃべりました。